

深城ダムの果たす役割

①洪水調節

ダム地点において、洪水の起こる場合の水量を400m³/sと見込み、そのうちの200m³/sをダムに一時的に貯留することにより、河川の水量を調節し、沿川地域の水害を防除します。

② 既得用水の安定確保

かんがい面積41.2haの農地に対して、かんがい期を中心に0.115～0.514m³/sの農業用水を確保します。

③河川環境の保全

河川に生息する魚類などの水生生物や河川の浄化機能を保全するために、 $0.40\sim 1.33\text{m}^3/\text{s}$ の水を確保します。

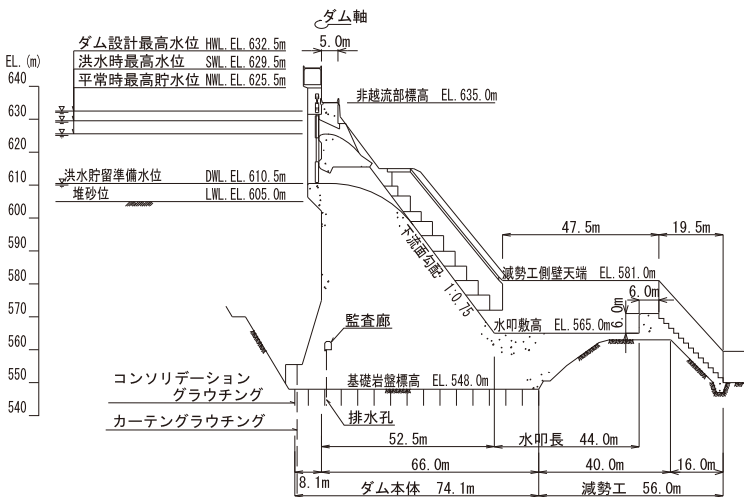
④水道用水の確保

大月市、上野原市の水道用水として、田無瀬下流地点において1日最大18,000m³ (0.209m³/s) の水を供給します。

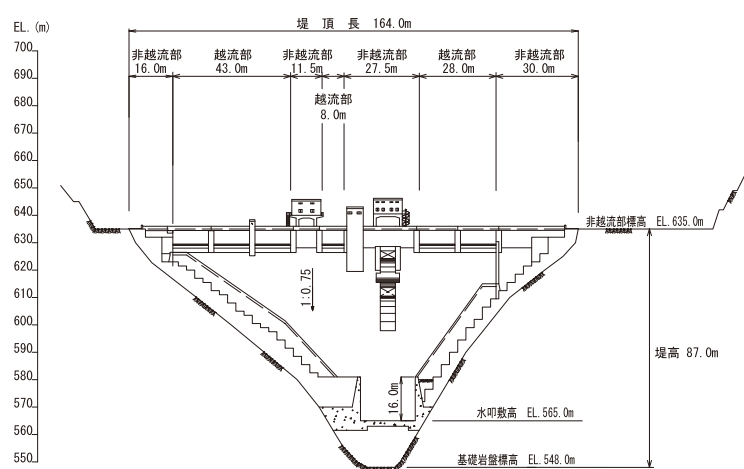
⑤ 発電

ダムからの放流水を利用して発電（最大出力340kW）を行います。

ダム標準断面図



ダム下流面図



深城ダム位置図



流域一覽図



ダム サイト	
灌 水 区 域	
集 水 区 域	
洪水氾濫防止区域	
不特定用水給水区域	
上水道用水給水区域	

山梨県県土整備部治水課
〒400-8501 山梨県甲府市丸の内一丁目6-1
TEL (055) 237-1111 (代表)
(055) 223-1700 (直通)

山梨県深城ダム管理事務所
〒409-0626 山梨県大月市七保町瀬戸2308-11
TEL (0554) 24-7062
FAX (0554) 24-7072

R1.9.1現在

葛野川
総合開発事業
深城ダム

(シオジの森 ふかしろ湖)



深城ダムの概要

葛野川は、その源を北関東山地の小金沢山、黒岳に発し、土室川と合流した後に南流して桂川（相模川）へ流れ込む一級河川です。

この河川は勾配が急峻で、また河道の流下能力が低いため、台風等による出水時には、大きな被害を受けてきました。県では、その都度、被害箇所での復旧工事や部分的な河川改修工事を実施してきましたが、沿岸が狭小で住宅や農耕地が多いこの地域において、家屋移転や用地取得を前提とした河道拡幅などの大規模な河川改修は極めて困難な状況でした。

一方、大月市及び上野原市では、これまで桂川支流の表面水や地下水等を水源として水道用水を確保してきましたが、近年、市街地の人口集中や新たな宅地開発により、水道用水の需要が見込まれたため、新たな水源が必要となりました。

そこで、県では葛野川総合開発事業として、洪水調節と併せ、上水道用水を確保するために多目的ダムとして、深城ダムを建設しました。

なお、深城ダムでは放流水を利用した水力発電も行っており、水資源の有効活用を図っています。

事業概要

- ・ダム本体（基礎掘削、本体、基礎処理等）
- ・取水設備　　・利水放流設備
- ・管理設備（ダム管理用制御処理設備、堤体観測装置、気象観測設備、放流警報設備等）
- ・管理事務所　　・艇庫　　・公園整備
- ・付け替え国道（2,732m）
- ・用地買収（54.13ha）・移転家屋（31戸）

総事業費：398.5億円

事業経緯

年 度	項 目
S 49～S 52	予備調査（県単費）
S 53～S 59	実施計画調査（国庫補助事業）
S 60.4	建設事業採択（国庫補助事業）
H 1.12	一般補償基準の調印
H 8.3	本体工事着手
H 10.4	転流工開始及び本体基礎掘削開始
H 12.4	本体コンクリート打設開始
H 14.12	本体コンクリート打設完了
H 15.11	試験湛水開始
H 17.3	完成

山梨県

ダム設備



発電所の諸元

発電所名	深城発電所	事業者	山梨県企業局
最大使用水量	1.0m³/s		
最大有効落差	43.35m		
最大出力	340kW		
年間可能 発生電力量	182万4千kWh		
水 車	横軸単輪単流 フランシス水車1台		
発 電 機	横軸三相交流 誘導発電機 1 台		



放水設備の諸元

常用洪水吐き	【洪水期】ベルマウス型オリフィス：幅5.5m×高3.1m 1門 【非洪水期】自由越流：幅5.5m 1門
非常用洪水吐き	自由越流：幅13.0m×高3.0m 5門、幅8.0m×高3.0m 1門
利水放流設備	取水設備：側壁付き円形多段式ゲート 4段 径1,100mm～1,700mm 放流設備：放流管 径800mm ジェットフローゲート 径700mm 1基、径250mm 1基



常用洪水吐き：洪水調節を行うための放流設備です。深城ダムでは、洪水期（6～9月）と非洪水期（10～5月）で通常時の満水位を変動させるため、2つの洪水吐きが設置されており、時期に応じて一方を開放します。なお、この2つの洪水吐きの切り替えを行うために常用洪水吐きゲートを使用します。

非常用洪水吐き：計画規模を越える洪水が発生し、常用洪水吐きで洪水調節が不可能となった場合に使用する放流設備です。

選択取水設備：利水のために必要な水を取水する際に使用する設備で、ダムに埋設されている管路内を流れ、利水放流バルブ室を経由し、ダムの下流に放流されます。但し、発電所が稼働中は、発電所を経由し、発電を行ったのちに放流されます。

艇庫：ダム及び周辺法面の巡視や貯水池内に流れ込んだ流木等の撤去を行うためのボートを格納している倉庫です。

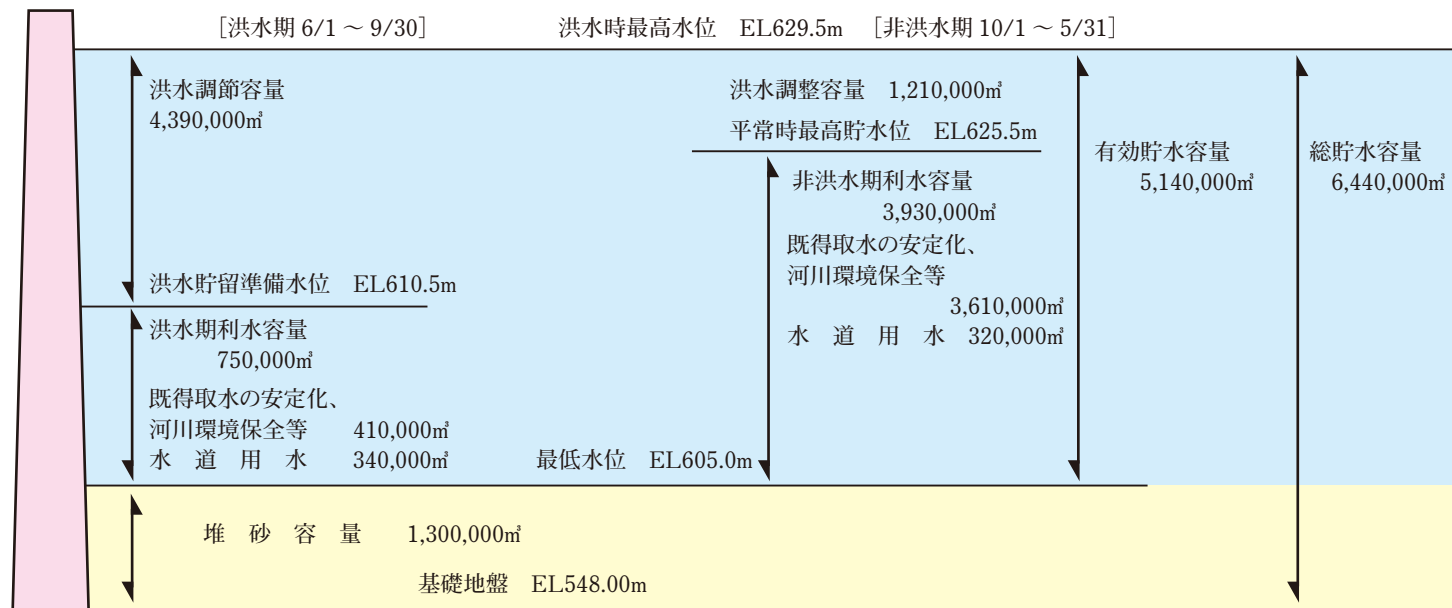
エレベーター：ダム堤体内部の監査廊（点検用通路）へ降りていくための施設です。

減勢工：洪水吐きから放流した水の勢いを抑制するための施設です。

網場（あば）：貯水池内に流れ込んだ木やゴミなどから取水設備や洪水吐きを防護するための施設です。

警報局：洪水調節等、ダムからの放流を行うことにより、河川の流水に急激な上昇が生じる際、注意喚起を促すための放送施設で、深城ダムでは16力所あります。

貯水池容量配分図



深城ダム周辺図



小金沢公園

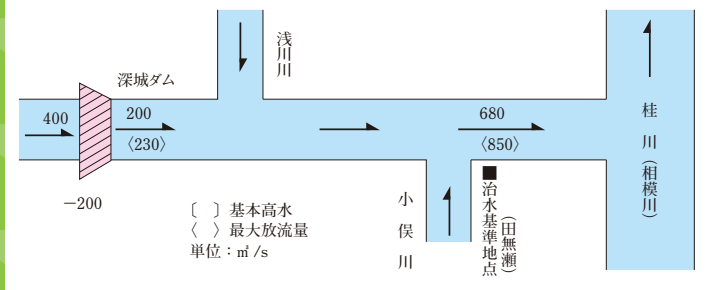


シオジ

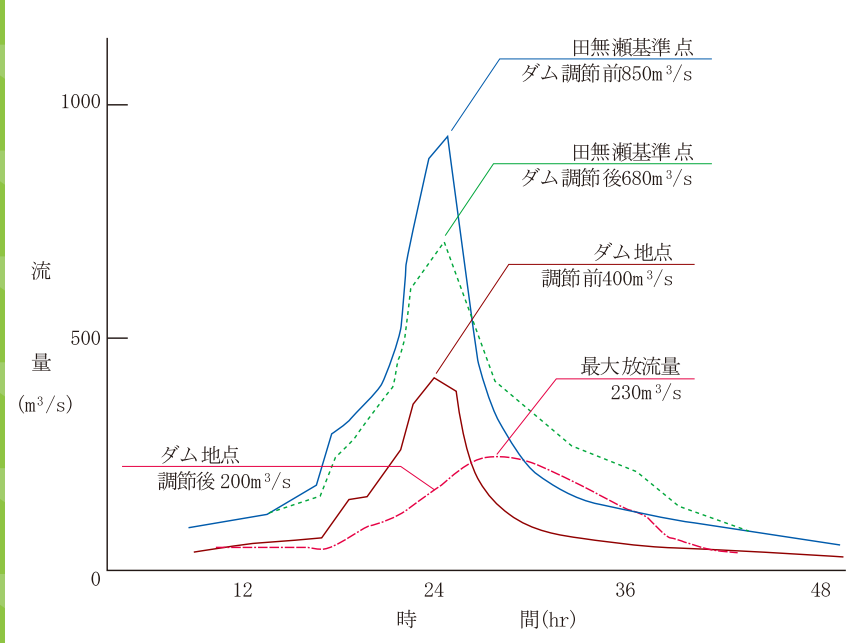


展望台

計画流量配分図



洪水調整図



シオジの森 ふかしろ湖の「シオジ」とは？

「シオジ【塩地】」とは、モクセイ科の落葉高木で、樹高が30m、直径が1m程度まで達する植物であり、花弁のない白花をつけます。深城ダムの上流域には、「シオジ」の天然林が群生しています。



冬の深城ダム

